

認知症介護の基本理念

特別養護老人ホーム「藤里」における認知症介護の基本理念を以下に定める。

私達は、「あなた自身を理解して、あなたらしく過ごせる環境を整え、安心して暮らせるような生活」を提供いたします。

(1) 認知症介護の基本方針

利用者の暮らしの基本である、食事、排泄、睡眠を充実し、安心できるような生活環境づくりに努める。認知症高齢者に関する認識を深め、チームワークや職員の意識向上を図る。

(2) 目的

利用者個人を尊重し、共通の目標を持つ事でチームワークの向上、工夫やスタッフの意識向上を図り、職員の「質」の向上に繋げたい。目標すべてが現状では実施できないにせよ、日頃実施するケアの根底に流れるものとなる。また、スタッフの姿勢に反映され、ケアの方法や行動の形成を考える時等、チームで意思決定する時のスタッフの行動の基礎となる。

(3) 整備関係

○「あなた自身を理解して」について

ケースファイルに綴られている入所記録の「生活歴記録票」「新規入所者調書」が挙げられる。特に「生活歴記録票」は、本人やその家族でしか分からない情報が得られる。理想は家族、同年代の近隣者、担当介護支援専門員からの情報が有効である。また入所後も生活記録からも情報等で家族でも気付かなかった情報を得る。

○「あなたらしく過ごせる環境」について

なじみの環境での生活を提供することや本人の愛用品があること、これまでの生活の雰囲気や困気が継続できる環境。例えば、本人が使用していた湯のみや箸、座り慣れた椅子や寝床等。テレビ番組、食事の時間、おやつの時間等、目に見えない生活スタイルも考えられる。

○「安心して暮らせるような生活」について

暮らしの基本を充実する（食事、排泄、睡眠）

高齢者は長い人生のなかで自分なりの最も合理的な生活を営んでいるため、自分の信念に従い、自分らしくあって、しかも一定のペースを持っているから、それを日課として大切にす。